

# 音 楽

## 「曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり」についての理解を深めるための授業づくり

A表現(1)歌唱において、「曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり」について理解するためには、〔共通事項〕との関連を図り、小学校では、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えながら、曲想と音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりについて、児童が自ら気付くような指導を工夫すること、中学校では、生徒が曲想を感じ取り、感じ取った理由を、音楽の構造や歌詞の内容（及び曲の背景）の視点から自分自身で捉えていくことができるような指導を工夫することが大切です。 ※（ ）内は中学校第2学年及び第3学年において付加された内容 知覚…要素の表れ方などを聴き取ること 感受…曲想を感じ取ること ※知覚と感受に順序性はありません

曲想…その音楽固有の雰囲気や表情、味わいなど

音楽の構造(小)…音楽を形づくっている要素の表れ方や、音楽を特徴付けている要素と音楽の仕組みとの関わり合い

音楽の構造(中)…音楽を形づくっている要素そのものや要素同士の関わり方及び音楽全体がどのように成り立っているかなど、音や要素の表れ方や関係性、音楽の構成や展開の有様など

歌詞の内容…歌詞の言葉の意味、歌詞が表す情景や心情など

(指導例) 中学校第2学年 A表現(1)歌唱ア  
〔共通事項〕ア 速度, 旋律, 強弱 教材 夏の思い出  
題材名 情景を思い浮かべながら言葉を大切に歌おう

曲の前半部分(第1, 2フレーズ)を聴いてみて、どんな感じがしましたか。

とても優しい感じがしました。(感受)

音楽のどのような働きから、そう感じましたか。

弱い音が多いところからです。(知覚)

低めの音が続いているところからです。(知覚)

楽譜を見ながら聴いてみると、「ピアノ」や「メゾピアノ」の記号が多く、低めの旋律の音が隣り合った音に移っていることも、優しい感じの理由だということが分かりました。(知覚・感受)

歌詞の「やさしいかげ」や「ののこみち」からも、優しい雰囲気が感じられます。

はやく、歌ってみたいです。

**Point!** 言語活動と音楽活動を行き来させ、感じ取った理由を音楽の構造や歌詞の内容の視点から捉えることができるよう、発問や板書等を工夫することが大切です。

第3フレーズまで歌ってみて、前半部分と比較して、気が付いたことはありますか。

「みずばしょうのはなが」のところが、音が高くなっています。(知覚)

音が高くなっているので、気持ちが高まっている感じがします。(知覚・感受)

そうですね。なぜ気持ちが高まっているのか、歌詞の情景や心情と関わらせて考えてみましょう。

霧が晴れて、水芭蕉の白い花が咲いていることを見つけ、感動しているからではないでしょうか。

感動しているのに、その後の「咲いている」が「ピアニッシモ」になっているのはどうしてかしら。

なるほど。「ピアニッシモ」が皆さんが思い浮かべた歌詞の情景や心情にふさわしいかどうか、フォルテとピアニッシモの二通りの表現で歌いますので、比較しながら聴いて考えてみてください。

**Point!** 多くの人が共通に感じ取れるような、曲固有のよさや特徴を自分自身で捉えることができるよう、比較聴取などの手立てを工夫することが大切です。